

もり、さと、うみ。

「森と川と海の対話——安心・安全な社会を求めて」第2回時計台対話集会

日時

平成十七年十二月十八日(日)十三時～十七時

講演

「森を育てて海を想う」

C. W. ニコル

(作家、アフアンの森財団理事長、京大フィールド研社会連携教授)

「川仕事」も、「森仕事」も

天野 礼子

(アウトドアライター)

「汽水に生きる」

畠山 重篤

(牡蠣の森を慕う会代表、京大フィールド研社会連携教授)

「地球社会の共存」

尾池 和夫

(京都大学総長)

挨拶

田中 克

(京都大学フィールド科学教育研究センター長)

コーディネーター/司会

土田 芳樹

(日本経済新聞 編集委員)

会場 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

入場無料(一般公開) 定員 先着500名

申込 不要

<主催>京都大学フィールド科学教育研究センター

問合せ先 京都大学フィールド科学教育研究センター TEL.075-753-6414・6415 FAX.075-753-6451 E-mail:joho@kais.kyoto-u.ac.jp

<協賛>株式会社村田製作所 株式会社大伸社 サイファーアソシエ ツ株式会社 株式会社日本経済社 全日本空輸株式会社 NPO法人エコロジー・カフェ
京都・まいづる立命館地域創造機構 JTBカルチャーサロン(順不同)

「森と川と海の対話－安心・安全な社会を求めて」第2回時計台対話集会

巨木がたたずむ豊かな森、アユが躍る清流の里、潮の満ち干に生命があふれる渚。これら私達日本人の原風景は今では心の中にしか残っていないのでしょうか。この原風景の再現には、森と里、里と海、そして海と森のつながりの再生が不可欠と思われます。

京都大学は2003年(平成15年)4月にフィールド科学教育研究センターを発足させ、森と里と海のつながりに人と自然の共存原理を求める新しい統合科学の誕生を目指しています。この新しい科学「森里海連環学」は、日本の自然を代表する森と川と海のつながりの再生を目指すものです。この取り組みを多くの方々に広くご理解いただるために、昨年7月に開催しました第1回時計台対話集会「森と里と海のつながり－“心に森”を築く」に続き、第2回時計台対話集会「森と川と海の対話－安心・安全な社会を求めて」を開催致します。安心・安全な社会を築き直すことは、今社会的に大変関心の高いことであり、その重要な自然的基盤となる森と川と海のつながりを考えてみたいと思います。そして、私達が次世代から借り受けている豊かな自然を再生し、そのまま贈り届ける責任を果たしたいと願っています。

「森」「里」「海」や森と川と海のつながりに興味のある方々のご参加をお待ちしています。

講師等略歴



C. W. ニコル

(作家、アフランの森財団理事長、京大フィールド研 社会連携教授)

「森を育てて海を想う」

長野県黒姫在住。カナダ水産調査局北極生物研究所や淡水研究所の主任技官。環境保護局の環境問題緊急対策官。1980年以来長野県に居を定め、独自に森の再活動に取組んでいる。日本の自然破壊を憂い、様々なメディアで日本の現状を訴え続けている。2005年名誉大英勲章を授与。



畠山 重篤

(牡蠣の森を慕う会代表、京大フィールド研 社会連携教授)

「汽水に生きる」

宮城県気仙沼湾で牡蠣養殖業を営む。“森は海の恋人”をキヤッチフレーズに、気仙沼湾に注ぐ大川源流の室根山に植樹運動を始める。また、子供たちに海の体験学習を行うなど、森と川と海の関連を訴える。著書に「森は海の恋人」(北斗出版)「リ亞スの海辺から」(文芸春秋)ほか多数。



天野 礼子

(アウトドアライター)

「川仕事」も、“森仕事”も

中学、高校、大学を同志社に学ぶ。国内外の川を中心 に“森・里・海”を歩く。1988年より文学の師・開高健とともに長良川河口堰反対運動に立ち上がり、“川の国”的ダムに警鐘を与える国民運動に育てた。著書に「ダムと日本」(岩波新書)「緑の時代をつくる」(旬報社)「だめダムが水害をつくる! ?」(講談社+α新書)ほか多数。



土田 芳樹

(日本経済新聞 編集委員)

1947年山口県生まれ。71年日本経済新聞社入社。広島支局、東京・産業部、名古屋・報道部、大阪・経済部、同社会部デスクなどを経て94年仙台支局長、97年運動部長。2000年から編集委員として夕刊社会面の「ブリズム現代」や「名作のある風景」などを担当。05年5月から新設の「こころのページ」で<奥の細道を歩く>を5ヵ月連載した。143日、1700余キロの歩き旅を終え、11月から同ページの編集長を務めている。

会場までのアクセス

京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■ 京都駅 (JR・近鉄) から

市バス「京都駅前」より

206系統「東山通 北大路バスターミナル」行 約40分 「京大正門前」下車

17系統「河原町通 錦林車庫」行 約40分 「百万遍」下車

■ 阪急河原町駅から

市バス「四条河原町1」より

201系統「祇園 百万遍」行 約30分 「京大正門前」下車

31系統「熊野・岩倉」行 約30分 「京大正門前」下車

■ 京阪をご利用の場合

京阪「出町柳駅」下車 東へ徒歩約15分



ミックス品
FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1220
© 1996 Forest Stewardship Council